

# 船員行政デジタル化への対応状況等

---

令和6年2月27日  
国土交通省海事局

## 船員行政のデジタル化の方向性 (第161回船員部会)

 窓口への出頭を前提としない  
仕組みへの変更

 船員以外の者が申請等を行える  
仕組みへの変更

 関連する手続全体としての  
BPR※の実施

※ BPR:行政手続の整理・統廃合を含む業務フローの抜本的な再構築

## 令和7年末までの船員行政手続のデジタル化の実現に向け取組を実施

## &lt;現在の船員行政のデジタル化に向けた主な取組への対応状況&gt;

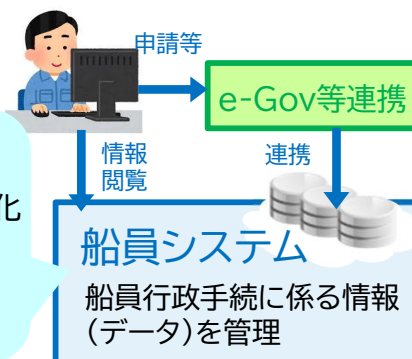
## 船員システムの整備

雇入契約成立の届出をはじめとする船員行政手続のデジタル化を図るためのデータベースシステムを構築

## 《船員システム(イメージ)》

## 【主な機能等】

- ✓ e-Gov等を利用した手続のオンライン化
- ✓ 船員カード、資格証書等の発行
- ✓ 各種報告等データの集計・結果の出力
- ✓ 船員等によるウェブでの情報閲覧 等



⇒ システムについて、設計・開発に向けた基礎調査を実施し、仕様等について検討中

反映

## 手続のBPRの実施

船員行政手続のデジタル化を見据えた各手続のBPRを実施

⇒ 各手続について順次BPRの検討を実施中

反映

## 関係法令等の整備

船員行政手続のデジタル化及びBPRの実施に必要な法令等の整備を実施

⇒ BPRの結果等を踏まえ、法令の改正事項等を検討

反映

# 船員行政のデジタル化に係る主なご意見と対応の方向性①

- ✓ 船員関係手続について、第159回(令和5年4月)船員部会でのご意見等も踏まえ、BPRを検討するとともに、その結果を踏まえ、「船員システム」の構築や制度の見直し(法令整備等)を検討

## ご意見

## 対応の方向性

### 申請手続の 全般の見直し (オンライン化)

- ・ 24時間365日の手続の受付
- ・ 窓口への出頭負担の軽減
- ・ オンラインでの本人確認
- ・ オンラインでの手数料納付
- ・ 雇入契約成立等の届出のオンライン化
- ・ 申請書類の合理化
- ・ オンライン化対応への支援窓口業務の継続

- ✓ オンライン申請システム(e-Gov)等を活用した船員関係手続のオンライン化を進め、24時間365日の申請環境整備、窓口への出頭負担の軽減に取り組む
- ✓ 真に本人確認を要する手続に本人確認を絞り込むとともに、将来的なオンラインでの本人確認の実現に向けた方策を検討
- ✓ 歳入電子納付システム利用による手数料納付のオンライン化を検討
- ✓ 既にオンライン化済の手続き(登録届出等)以外の雇入関係手続きのオンライン化を進める
- ✓ 業務プロセスの再構築を行い、可能なものから順次申請書類の合理化を進める方向で検討
- ✓ 様々な事業者や船員等の申請者が存在することに十分配慮し対応する方向で検討

### 船員情報の デジタル化

- ・ 船員手帳のデジタル化
- ・ 資格証書等のデジタル化
- ・ デジタル化後の船員等による船員情報(乗船履歴等)の閲覧
- ・ 情報セキュリティ対策の徹底

- ✓ 船員手帳のカード化・デジタル化を進める
- ✓ 資格証書等について電子証書での交付を検討
- ✓ 海技免状に係る手続きに乗船履歴を必要としていることを踏まえ、船員カード交付後の乗船履歴等を国においても管理・提供する方向で検討。ただし、個人情報保護の観点も踏まえた対策の可否を考慮した慎重な検討を行う必要があることに十分に留意
- ✓ システム管理する情報ごとに外部からのアクセスの可否を整理し、情報管理の必要度に応じた情報セキュリティ対策を措置

## ご意見

## 対応の方向性

### 制度・運用の見直し等

- ・ 各種手続の簡素化・合理化

- ✓ 業務プロセスの再構築を行い、令和7年度中の船員手続きのオンライン化に合わせた制度・運用の見直しを検討

- ・ 外国人船員の船員手帳の有効期間の見直し

- ✓ 現行「5年」の有効期間を「10年」とする方向で検討

- ・ 航海日誌、海員名簿等の船内備置書類のデジタル化

- ✓ 国際条約を踏まえた船内備置書類の他の書類による代替可能性の検討を行った上で、引き続き船内への備置きを求める必要があるものについて電磁的方法による作成・保存等を可能とする方向で検討

- ・ ウェブページへの各種申請様式の掲載

- ✓ 件数の多い手続等を中心に、国土交通省のHPへの申請様式の電子ファイルを掲載

- ・ 海のハローワークの利便性向上

- ✓ ご要望に応じて、対応可能なものから順次措置

- ・ 海技資格情報等の海事行政情報との連携による手続の簡素化

- ✓ 海事行政DXにおける情報連携の取組において検討

# 船員システムの構築の方向性

- ✓ 船員行政のデジタル化を図るため、新たなデータベースシステム「船員システム」を構築。
- ✓ 当該システムは、船員関係手続のオンライン化や船員手帳のカード化・デジタル化に対応するため、様々な機能を実装予定であることから、大規模かつ複雑なシステムになる見込み。
- ✓ このため、令和7年末までの船員関係手続のオンライン化に際して実装することが必須となる機能を優先的に設計・開発した後、順次、関係者の意向等を踏まえ、優先順位をつけて機能追加(充実)を図る。

## 船員システム(機能等実装)イメージ

注) 手続も船員手帳の交付、雇入契約成立等の届出など主要なものから順次実装

### ① 手続のオンライン化

- ✓ 船員関係手続のオンライン化を図り、出頭を不要とするための機能等を整備

#### 《主な機能等》

- ① 船員情報データベース構築
- ② オンライン申請システム(e-Gov等)との接続
- ③ 職員による情報管理等機能
  - ・ 職員のアカウント管理
  - ・ 情報検索、閲覧、入力・修正 等
- ④ その他基本機能
  - ・ セキュリティ対策
  - ・ データの集計・出力機能 等

### ② 船員手帳のカード化

- ✓ 船員手帳のカード化を図るための機能等を整備

#### 《主な機能等》

- ① 船員カード出力機能  
(カード印刷用プリンタの整備含む。)
- ② 船員による情報閲覧等機能
  - ・ 船員のアカウント管理
  - ・ 自身の船員情報の検索、閲覧等
  - ・ 船舶所有者への情報提供 等
- ③ 資格証書等の表示・出力機能
- ④ 船舶所有者による情報閲覧等機能
  - ・ 船舶所有者のアカウント管理
  - ・ 船員情報の検索・閲覧 等

### ③ 利用者の利便性向上等

- ✓ 船員等システム利用者の利便性の向上等を図るための機能等を整備

#### 《考えられる機能等(例)》

- ① 手数料の電子納付機能
- ② 申請等手続での基本情報の自動入力機能
- ③ 乗船履歴の管理、計機能
- ④ 船員保険等関係システムと連携した各保険加入状況の確認機能 等

注) 各機能等の実装に関しては、システム上の制約等を踏まえ慎重に検討を進める。

順次、機能等の拡充を図りながら、システムの整備を進める

# 海事行政DXの推進

## 概要

### 現状・課題

アナログな  
行政手続

情報の  
個別管理

関連産業の安全性向上と業務効率化  
による生産性・利便性向上が課題



### 今後の方向性

行政手続のデジタル化

情報の一体管理

情報提供の充実

海事行政DXを推進し、事業者が  
安全な運航に集中できる環境を整備



## 海事行政DXの目指す姿

### 海事行政の現状

#### DB整備済

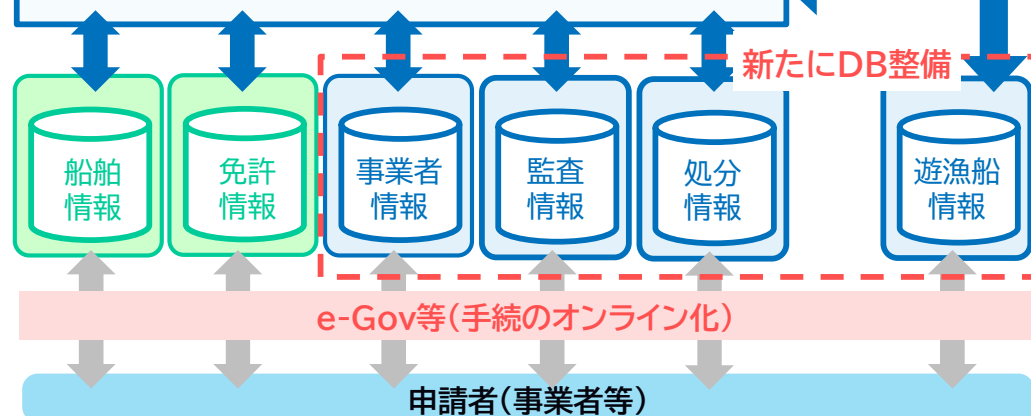
#### DB未整備



### 海事行政のDX

#### データ連携

#### 情報連携基盤システム



「政府情報システムの管理等に関する考え方」(令和3年9月1日デジタル大臣決定)に則り、  
整備に要する費用と利用者側・行政側への効果を勘案して、デジタル庁と協議の上、DBの整備とデータ連携等を進める

# 今後のスケジュール(想定)

	船員部会	法令等整備	システム整備
令和5年		BPRの実施	設計・開発に向けた調査
令和6年	2月 BPRに関する委員からの ご意見を踏まえた対応の方向性を説明	改正事項等の検討	設計・開発
	随時 システム整備の状況等、船員行政の デジタル化に係る動向の報告		
令和7年	夏頃まで BPRに伴う関係法令等の改正案(デジタル化に合わせて実施するもの)の諮問	夏頃 関係法令等の改正	↓
	秋頃まで 船員行政のデジタル化の開始時期等を説明		
	冬頃	船員行政のデジタル化実施	

- ※ 上記時期は、目安。検討・調整の状況により、前後する場合がある。
- ※ 船員行政のデジタル化を実施する前に、デジタル化対応に係る周知・説明を丁寧に実施。
- ※ 令和8年以降も継続して、BPRやシステム改良に取り組む。